

令和元年度 国語科授業の略案 (1年)

月日 (校時)	単元名	教材名
6月24日 (月) 4校時	「くちばしクイズ」をつくって、 ともだちにおしえよう!	くちばし
本時のねらい (4/8) ○「くちばし」が「問い」と「答え」の構成になっていることに気づき、内容を正しく捉えて読むことができる。		
評価規準 考 「問い」と「答え」という説明の順序や内容を、正しく捉えて読んでいる。		
学習過程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	留意事項・ 評価 ・ キーワード
【導入】 11:30	1. ペアで前時の振り返りをする。 2. はちどりについて書かれている文章を読む。	・一斉に読んだ後は、問いの部分と答えの部分に分けて役割を決めて読ませ、文の構成に自然と気づくようにさせる。
【展開】 課題把握 11:35 ・問いの共有 ・シラバス ・見通し 11:45 解決活動 ・一人学び ・ペア 12:00 ・全体学び ・考察 まとめ 12:07	3. 本時の課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> はちどりの くちばしの ひみつを みつけ、 とりのくちばしのくふうをかんがえよう。 </div> ○問いに青線、答えに赤線を引きましょう。 《1人でチャレンジ(5分)・ペア学び(3分)・全体学習(14分)・まとめ(5分)・振り返り(3分)》 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> ・はちどりのくちばし ・わかつたことをつたえる ・ぜんたい ・べあ ・みつけたひみつをつたえる ・ぶんからひみつをつつける ・こたえ：あかせん ・せいんをひく ・おせんをひく ・おかせん </div> ○はちどりのくちばしにはどんなひみつがあるか文の中から見つけてみましょう。 ・ほそながいくちばしになっています。 ・ほそながいくちばしをはなのなかにいれます。 ・はなのみつをすいます。 ○ペアで伝え合ひましょう。 ・はちどりのくちばしはほそながなくなっています。りゅうははなのなかにいれるからです。 ・おうむのくちばしはほそながなくなっています。りゅうははなのみつをすうからです。 4. 既習事項や写真、文章を照応させながら、全体で考えを出し合う。 ○全体で考えを発表してください。 みんなが見つけた言葉からどんなことがわかりますか。 ・「はちどりは、～いれます。」という文でどんなくちばしかわかりません。 ・きつつきにもおうむにもはちどりもえさを食べるために、くちばしに工夫があることがわかりました。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> はちどりのくちばしは、はなのみつをすうためにほそながいくちばしになっている。 とりのくちばしには、えさをとるためのくふうがある。 </div>	とい こたえ ほそながい はなのなか ・問いに青線、答えに赤線を引き全員で共有する。 ・答えは、問われていることにしっかりと対応させるということを確認する。 ・ハンドサインチェックを行い、見通しが持てるようにする。 ・文章構成を確認してから、特徴について話し合うように促す。(ペア学習の視点を示す) ・既習事項や写真と文章を照応させながら、答えに続く説明がある場合とない場合を仮定して、分かりやすくなっていることに気づかせる。 考 「問い」と「答え」という説明の順序や内容を、正しく捉えて読んでいる。 ・言語わざをつかうようにする。(言語わざ：まえのがくしゅうのこともいれながらつたえる。)
【終末】 ふりかえり 12:12	5. 学習したことを振り返る。	・学習してわかったことやこれから頑張りたいことを発表する。